

## お知らせワイド

# 3月1日～7日は 春の火災予防運動を実施します！

**問合先** 消防本部予防課予防グループ (☎82-9492)

### 2021年度全国統一防火標語

**「おうち時間 家族で点検 火の始末」**

冬から春に移り変わるこの時季は、空気が乾燥し、風が強い日も多くなるので、火災が発生しやすくなっています。火災から身を守るため、家族で火気を取り扱う場所を点検するとともに、火災発生時に備え、住宅用火災警報器や住宅用消火器を設置して、被害を最小限に抑える対策を取りましょう。

### 全国の総出火件数

令和2年中の全国の総出火件数は34,691件、そのうち建物火災は19,365件で1日あたり約53件の建物火災が発生しました。

### 令和3年中の亀山市の火災概要

令和3年中に市内で発生した火災は19件で、前年に比べ9件減少しましたが、残念なことに死者と負傷者が出ています。火の取り扱いには十分注意し、火の用心を心掛けてください。

また、全国では着衣着火によって、毎年100人前後が亡くなっています。調理の際は、火の元から十分に距離を取ったり、防災製品を使ったりして着衣着火を防ぎましょう。

## 地震による電気火災に注意！

11年前の3月に発生した東日本大震災の本震では、原因が特定された火災108件のうち過半数の58件が電気関係の出火でした。(日本火災学会誌「2011年東日本大震災火災調査報告書」より)

電気火災は、地震直後に発生するだけでなく、停電からの復旧時に、「通電火災」と呼ばれる火災が発生する恐れがあります。

### 通電火災の主な原因

**その1** 地震によって衣類や雑誌などの燃えやすい物が電気ストーブ周辺に散乱した状況下で、通電再開によりストーブが作動。散乱した物に着火して、火災が発生する。

**その2** 「電気コード」が転倒した家具の下敷きになり損傷。通電の瞬間にショートすることで、散乱した室内の燃えやすい物に着火し、火災が発生する。

## 通電火災を未然に防ぎましょう！

このような火災を起こさないためにも、大きな地震の発生時には、避難する前にブレーカーを落としましょう。また、電気機器の電源を切り、コンセントから電源プラグを抜きましょう。

## 地震による電気火災対策は感震ブレーカーが有効です！

感震ブレーカーとは、地震を感知すると自動的にブレーカーを落とし、電気を止めるもので、設置することにより、地震による通電火災が発生しにくくなります。大切な命や財産を火災から守るためにも、感震ブレーカーの設置をご検討ください。



令和4年  
春の火災予防運動ポスター  
川崎小学校5年生  
山崎柊齊さんの作品

項目		R2年	R3年	増減
火災件数 (件)	建物 (住宅)	9 (6)	4 (3)	-5 (-3)
	林野	0	0	0
	車両	5	6	1
	その他	14	9	-5
	合計	28	19	-9
死傷者 (人)	死者	1	1	0
	負傷	3	4	1



地震時の  
通電火災にご注意



感震ブレーカーを  
設置しましょう!!

